

1. 基本情報

基本目標	3	誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり	担当部	町民生活部
基本施策	2	安心安全・地域協働・産業活性化のまちづくり		
単位施策名称	1	人権の尊重と男女共同参画社会の推進		
施策の方向性	●社会全体で差別や偏見をなくすために、人権意識の普及・啓発を行い、住民一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりを推進します。 ●男女が互いの人権を尊重し対等なパートナーとして協力し合い、家庭・地域・職場など社会のあらゆる分野で男女がともに自分の意思で参画し、ともに育ち、支え、伝え合える場所をつくることで、男女共同参画社会の実現ができるよう普及・啓発を推進します。			

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	中期目標(R2)
1	普及啓発活動参加者数	人	目標値		4,081	4,081	4,081	4,081	4,280
			実績値	4,081	4,777	4,662	4,763		
			達成状況		達成	達成	達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						
4			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（部長評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

目標値は達成していますが、人権が尊重されるまちづくりの推進や男女共同参画社会実現のためには、継続的な啓発活動が必要です。

・評価及び対応方針

今後も引き続き、人権が尊重されるまちづくり、男女共同参画社会の実現へ向け、普及・啓発を推進します。

作成担当部長 町民生活部長 金光 一隆

4. 今後の展望（評価会議最終評価）

目標値を達成しています。引き続き目標値の達成を目指し、現在の方向性で施策を継続することとします。

【参考】施策の推進に要したコスト

(単位:千円)

区分		No.	事業名称	事業費
施策の成果を 押し上げる 事業	事務 事業 計画	1	人権推進事業	3, 525
		2	男女共同参画推進事業	150
		3		
		4		
		5		
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
		13		
		14		
		15		
		16		
		17		
		18		
		19		
		20		
施策の成果を 維持する事業	財政 計画	1	社会福祉総務一般事務事業	73
		2		
		3		
		4		
		5		
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
		13		
		14		
		15		
		16		
		17		
		18		
		19		
		20		
合計				3, 748

平成30年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	人権推進事業	事業番号	321101
担当部署名	町民生活部	自治振興課	
政策体系			
基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	2 安心安全・地域協働・産業活性化のまちづくり		
単位施策	1 人権の尊重と男女共同参画社会の推進		

2. 事業概要

「ヒューマンフェスタ 2018 in 府中町」の開催、人権啓発冊子の発行、人権啓発紙芝居や人権の花運動等を実施し、人権啓発を推進します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 住民等を対象にヒューマンフェスタを開催し、人権講演会や各種啓発活動を展開します。（1回予定） ○ 町内の保育園・幼稚園の園児及び未就園児を対象に、人権啓発紙芝居を実施します。（12回予定） ○ 人権意識の普及・高揚を図るため、人権啓発冊子を作成し、全世帯に配付します。 ○ 民生児童委員を対象に、人権ビデオ学習会を実施します。（3回） ○ 町内小学校の新1年生を対象に、あいさつ運動を実施します。	○ 住民等を対象にヒューマンフェスタを開催し、人権講演会や各種啓発活動を展開しました。（平成30年12月2日、参加者650人） ○ 町内の保育園・幼稚園児を対象に、人権啓発紙芝居を実施しました。（11回実施、参加者1,235人） ○ 人権意識の普及・高揚を図るため、人権啓発冊子を作成し、全世帯に配付しました。 ○ 民生児童委員を対象に、人権ビデオ学習会を実施しました。（平成30年11月、3回実施） ○ 町内小学校の新1年生を対象に、あいさつ運動を実施しました。（5小学校、対象者551人）

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	啓発活動実施回数	回	目標値	38	38	38	38	40
			実績値	39	40	40		
			達成状況	達成	達成	達成		
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		人権意識を高めることを目的としているため、啓発活動実施回数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	3,958	0	85	0	0	3,873
決算	3,525	0	85	0	0	3,440

6. 評価と対応方針（課長評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

事業目標は達成しましたが、町民の人権意識を高めるため、今後も継続的な啓発活動が必要です。

・評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・評価を踏まえた対応方針

今後も引き続き啓発活動を行うことにより、町民の人権意識を高め、基本的人権が尊重される明るいまちづくりの実現を目指します。

作成担当課長

自治振興課長 岩崎 雅男

7. 評価と対応方針（部長評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

事業目標は達成しましたが、町民の人権意識を高めるため、今後も継続的な啓発活動が必要です。

・評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・評価を踏まえた対応方針

今後も引き続き、人権が尊重されるまちづくり、男女共同参画社会の実現へ向け、普及・啓発を推進します。

作成担当部長

町民生活部長 金光 一隆

8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	目標値を達成しています。引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。

平成30年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	男女共同参画推進事業	事業番号	321102
担当部署名	町民生活部	自治振興課	
政策体系			
基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	2 安心安全・地域協働・産業活性化のまちづくり		
単位施策	1 人権の尊重と男女共同参画社会の推進		

2. 事業概要

講演会の開催等により、男女共同参画推進の啓発を行います。また、府中町男女共同参画推進懇話会において、第3次男女共同参画プランに関する各種施策の点検及び評価を行い、効果的な施策を推進します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 住民等を対象に男女共同参画講演会を開催します。（1回予定） ○ 町職員を対象に男女共同参画ビデオ学習会を実施します。（2回予定）	○ 住民等を対象に男女共同参画講演会を1回開催しました。（6月9日実施、参加者46人） ○ 町職員を対象に男女共同参画ビデオ学習会を2回実施しました。（9月、2月）

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	啓発活動実施回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
			達成状況	達成	達成	達成		
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		男女共同参画の意識啓発を高めることを目的としているため、啓発活動実施回数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	171	0	0	0	0	171
決算	150	0	0	0	0	150

6. 評価と対応方針（課長評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

事業目標は達成しましたが、男女共同参画社会の実現のためには、今後も継続的な啓発活動が必要です。

・評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・評価を踏まえた対応方針

今後も引き続き啓発活動を行うことにより、町民の男女共同参画意識を高め、男女共同参画社会の実現を目指します。

作成担当課長

自治振興課長 岩崎 雅男

7. 評価と対応方針（部長評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

事業目標は達成しましたが、男女共同参画社会の実現のためには、継続的な啓発活動が必要です。

・評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・評価を踏まえた対応方針

事業目標は達成していますが、更なる町民の男女共同参画意識を高め、男女共同参画社会を実現させるため、今後、啓発活動の内容等について工夫をします。

作成担当部長

町民生活部長 金光 一隆

8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	目標値を達成しています。引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。